

後期基本計画(素案)からの修正点

序論

頁	修正力所	修正前	修正後
表紙	表題	第二次四国中央市総合計画 後期基本計画(素案)	第二次四国中央市総合計画 後期基本計画(案)
6	4) 就業者数の推移 (グラフ)各年の就業者合計値	—	平成7年 平成12年 平成17年 平成22年 平成27年 48,569 46,518 45,550 42,856 42,091
8	見出し	人手不足や女性の活躍、多様な働き方への対応	人手不足や女性の活躍、多様な働き方への対応 と外国人労働者の増加
8	3社会情勢の変化 人手不足や女性の活躍、多様な働き方への対応 5行目	また、女性の就業率は、	このような中 、女性の就業率は、
8	〃 8行目	さらに、近年、労働者の	また 、近年、労働者の
9	〃 文末に追加	—	さらに、日本で働く外国人労働者は、平成29(2017)年10月時点で約128万人と毎年増加しており、今や働き手として、外国人の存在は欠かせないものとなっています。国は、平成31(2019)年に新たな在留資格を創設し、外国人労働者の受け入れを拡大していく方向性を打ち出しました。
9	3社会情勢の変化 安心・安全への関心の高まりと地域のつながりの構築 2・4行目	平成28(2016)年4月の熊本地震など、大規模な地震が各地で発生しています。また、平成26(2014)年8月の広島土砂災害や平成29(2017)年7月の九州北部豪雨など、豪雨による大規模な土砂災害も発生している	平成28(2016)年4月の熊本地震 や平成30(2018)年9月の北海道胆振東部地震 など、大規模な地震が各地で発生しています。また、平成26(2014)年8月の広島土砂災害や平成29(2017)年7月の九州北部豪雨 、平成30(2018)年7月の西日本豪雨 など、豪雨による大規模な土砂災害も発生している
10	3社会情勢の変化 地方分権と協働によるまちづくりの進展 12行目	「子どもに継がせたい地域づくり、産業づくり」	「 子どもが継ぎたい 地域づくり、産業づくり」

後期基本計画

頁	修正力所	修正前	修正後
20	目標 1行目	豊かな水資源を保全し、治水、利水	豊かな水資源を保全し、 治山 、治水、利水
26	背景 段落4 1行目	今後は、この足跡を基礎に、時代の変化に対応しながら	今後は、この足跡を基礎に、 人手不足などの深刻な課題 や時代の変化に対応しながら
27	基本方向(3) 1行目	高齢者、障がい者や介護・育児中の人など、	女性 、高齢者、障がい者 や 、介護・育児中の人、 外国人 など、

27	主な取組(3) 項目1 1・2行目	高齢者、障がいのある人、介護・育児中の人 も働きやすいワーク・ライフ・バランスに配慮 した多様な働き方の確保、人にやさしい職 場環境づくりなどを進めます。	女性 、高齢者、障がいのある人、介護・育児中の人も働 きやすいワーク・ライフ・バランスに配慮した多様な働き 方の確保や 外国人も働きやすい職場 など、人にやさし い 職場 環境づくりなどを進めます。
29	主な取組(3) 項目4を追加	—	● 地域産業を支える外国人労働者の確保に向けて、 関係機関と連携を図ります。
32	用語解説	—	※ 修景 とは、 都市計画的な景観整備 のこと。
38	背景 段落2 3行目	イメージソングの流布	イメージソングの 浸透
43	用語解説	—	※ 道路ストック とは、 トンネル・橋梁・照明灯 など道路構 造物をいいます。
44	背景 段落3 7行目	対策が滞ればスラム化が懸念される	対策が滞れば ゴースタウン化 が懸念される
56	背景 段落1 5行目	幼稚園や保育園に入れない待機児童の問題	幼稚園や保育園等 に入れない待機児童の問題
59	主な取組(1) 項目1を分割	高齢者が就労や地域活動への参加により、 生きがいを感じながら活躍し、地域づくりに 貢献していけるような環境づくりを進めます。	● 高齢者が就労や地域活動やボランティア活動 への 参加により、 生きがいを感じながら活躍し 、地域づくりに 貢献していけるような環境づくりを進めます。
			● 高齢者の経験を活かした就労機会の充実により、生 きがいを感じながら活躍 できるよう支援します。
67	主な取組(2) 項目1	子どもの教育能力を高める観点からの、	子どもの 健やかな成長と安全な教育環境の確保 を図 るとともに、 教育能力を高める観点からの、
67	主な取組(2) 項目2	校内LAN整備や統合型校務支援システムな どによる学校の情報環境整備や情報教育の 充実に努めます。	学校のICT化を促進し情報教育の充実 を図るととも に、 校内LAN整備や統合型校務支援システム導入 など による学校の情報環境整備や 情報教育の充実 に努め ます。
69	主な取組(3) 項目3を追加	—	● 地域と一体となった学校運営を進めるために、「コ ミュニティ・スクール制度」を導入する学校を広げていき ます。そして、学校と地域の連携・協働によって子ども を育む「地域とともにある学校づくり」を進めます。
69	用語説明	—	※ コミュニティ・スクール制度 とは、 学校と保護者や地 域住民がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反 映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊か な成長を支えていく「地域とともにある学校づくり」を進 める法律(地教行法第47条の6)に基づいた仕組み です。
70	背景 段落3 1行目	今後は、市民文化ホール(愛称○○○)	今後は、市民文化ホール(愛称 しこちゅ〜ホール)

71	主な取組(1) 項目3を分割修正	高原ふるさと館や暁雨館、考古資料館などにおいて歴史展示・図書コーナー及び企画展の充実を図り、手すき和紙の体験や水引の活用も含めた各種講座や教室など、	歴史考古博物館(仮称)や暁雨館などにおいて、歴史展示・図書コーナー及び企画展の充実を図るとともに各種講座の開催など、
71	主な取組(3) 項目2を追加	高原ふるさと館や暁雨館、考古資料館などにおいて歴史展示・図書コーナー及び企画展の充実を図り、手すき和紙の体験や水引の活用も含めた各種講座や教室など、	●手すき和紙の体験や水引の活用も含めた各種講座や教室の開催、アーカイブ化などによる紙文化の継承に努めます。
77	主な取組(1) 項目4	多様な文化が共生し安心、安全な地域社会づくりを市民と協働で進めます。	多文化共生社会の実現に向けて、日本語の学習支援や災害への対応など、外国人にとっても暮らしやすいまちづくりを市民と協働で進めます。
82	背景 段落3 2行目	高齢者や障がい者にも配慮した、	高齢者や障がい者、外国人にも配慮した、
83	主な取組(2) 項目2 2行目	情報のバリアフリー化に努め	多言語化の検討や情報のバリアフリー化に努め
88	プロジェクトの展開 成果 2行目	UJIターン	UIJターン